

令和7年3月吉日

会員各位

一般社団法人鈴鹿亀山薬剤師会
会長 若生 美樹

令和7年4月定例研修会のご案内

仲春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、鈴鹿亀山薬剤師会の令和7年4月定例研修会を下記のとおりご案内いたします。
鈴鹿医療科学大学での集合研修となりますので、参加を希望される会員の方は、令和7年3月26日(水)までに会ホームページ(<https://www.reikiyaku.or.jp>)のトップページのお知らせ「鈴鹿亀山薬剤師会主催研修会情報」からお申込みをお願いいたします。

なお、ホームページからの申し込みができない方及び本会会員以外の方（実務実習生を含む）は、下記申込書に記入の上、鈴鹿亀山薬剤師会事務局（Fax：059-381-2234）にFax送信してください。本会会員以外の方も参加ができますが、三重県薬剤師会の会員でない方は有料（詳細は別紙参照）となります。

記

- 日時：令和7年4月3日（木）19時30分～21時00分
- 場所：鈴鹿医療科学大学白子キャンパス6号館
三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3
- 内容
 - ・演題名：代表的な薬剤耐性菌について
 - ・演者名：伊豫田 龍治 様（株式会社オー・ピー・エル）
 - 特別講演
 - ・演題名：ピロリ菌と如何に取り組むか
 - ・演者名：村瀬病院内科 胃大腸センター長 吉村 平 先生
- 主催：鈴鹿亀山薬剤師会
- 留意事項：日本薬剤師研修センター1単位（申請中）

（切らずにA4用紙のままFAX送信：059-381-2234してください。）

4月定例研修会参加申込書－申込期限： 3月26日（水）

会員区分	（ 鈴鹿亀山薬剤師会会員 ・ 他地域・職域薬剤師会会員 ・ 非会員 ） いずれかに○印を付してください！		
薬局名		名 前	
E-mail			
講師への 質問事項			

※備考：定員150名とさせていただきます。

【鈴鹿亀山薬剤師会の会員以外の方の受講について】

1. 本会会員以外の方も参加ができますが、三重県薬剤師会会員ではない方は、受講料 3,000 円を徴収します。
2. 本会会員以外で三重県薬剤師会会員の方は、受講料は必要ありませんが、三重県薬剤師会の会員証を確認させていただきます。必ず、会員証を持参の上、参加をお願いいたします。会員証を持参されなかった方は、非会員扱いとなりますのでご注意ください。
3. その他の参加の手続きは、以下の【薬剤師研修・認定電子システム（PECS）の集合研修参加手続きについて】のとおりです。

【薬剤師研修・認定電子システム（PECS）の集合研修参加手続きについて】

1. 参加される会員は、日本薬剤師研修センターのホームページから薬剤師研修・認定電子システム（PECS）の登録をお願いします。登録されていない方は、受講しても単位を付与されませんのでご注意ください。
2. 参加される会員は、PECS 登録で交付される本人確認票（QRコード）を印刷（QRコード全体が鮮明に印刷されていること）して研修会場に持参し、入場時に必ず受付に設置されているQRコード読み取り機に読み取らせる。
注1）スマートフォンなどに取り込んだ QR コードも使用できますが、ディスプレイの破損等の不具合で読み取れなかったときは、本人の責任となり単位は付与されません。
注2）受講時間は厳密になりますので、遅刻・早退は認められません。
注3）受付方法の変更で時間がかかることが予想されるため、余裕をもってお越しください。受付開始時間は19時からとなります。
3. 19時30分から21時00分までの研修を受講する。
4. 研修受講後、退場時に本人確認票（QRコード）を会場受付に設置されているQRコード読み取り機に読み取らせる。
注4）研修シールは廃止となりましたので、交付はございません。
注5）研修記録は薬剤師研修・認定電子システム（PECS）で研修参加者に自動交付されます。

【感染症対策に係る『鈴鹿亀山薬剤師会研修会開催指針』 ver.1～会員を守る安全な研修会開催のために～（令和5年7月1日）一般社団法人鈴鹿亀山薬剤師会から抜粋】

- (1) 参加者は、必ず、事前申し込みを行い、発熱、体調不良がないことを確認のうえ、参加する。なお、原則として、体温 37.5℃ 以上、または体調不良の方は研修会への参加をお断りする。
- (2) 参加者は、会場では必ずマスクを着用すること。マスクは参加者が持参することとする。
- (3) 消毒用アルコールは、受付付近に設置し、参加者が必要なときに常時使用できるように配慮する。
- (4) 会場が鈴鹿医療科学大学白子キャンパスで開催するときは、原則として、6号館で開催し、定員 150 名以内とし、参加者は隣り合わせに着席しないよう人と人との距離に配慮する。
- (5) 会場では、できる限り換気を行う。参加者は、研修中だけでなく研修会の前後や休憩時間についても、不必要な会話、席の移動、交流を慎む。